

自然に学び、先人に学ぶ

No.5 ～靈妙且つ精妙なる生体の防御システム～

*神は愛なり、愛は神なり

*万物の創造主(神)も病気だけは創らなかった

*無いものなだれから有るもの活かし

本編（自然に学び、先人に学ぶ）の No.2（2016年5月配布）で以下のことを述べています。（抜粋）

『生命誕生の様子（細胞や諸器官のできる様）を見ていると、人や動物は小腸が先ずできて、その後、骨格や脳ができ始めるようです。その小腸でも大事なものが絨毛（じゅうもう）であります。ここで食べたものを吸収するのは勿論ですが、血液を作り出すという説（千島学説）があります。更に、心の所在も脳でなく小腸という説があります。

一方、植物はどうかと言いますと、人や動物の小腸になるのが土です。そして、絨毛と同じような役目をするのが根毛です。芽を出す前に根が動き、根毛が働き始めます。もしかしたら、私たち人間の遙か昔（40億年前）の祖先は植物ではないかと考えています。植物もいつも感じつつ、考えながら、ダイナミックに動いています。』

先月（2016年）10月24日に大阪大学が「人間と植物の部分的な細胞融合に世界ではじめて成功した」と発表しました。

このことは、ヒト染色体を維持するしくみが植物染色体にも働くということの証明で共通祖先から分岐して約16億年を経ても、人間と植物の間で遺伝子発現のしくみが保存されていたということです。大阪大学によると、動物と植物の両方で保存されている機能は、生物にとって極めて重要かつ根本的なものであることが予想され、「進化の謎を解く一つの手掛かりになる」とのことです。

人間（動物）と植物の共通点を考えるとき、あまりにも多くの共通点があることに驚きます。大きな違いを示すとすれば、脳の有無と移動するかしないかでしょうか！？種子を宿し、守り、子孫に繋ぐ、それを営々とこなす植物の活動には人間や動物を利用するというしたたかさは勿論、ありとあらゆるマテリアル（材料）やエレメント（元素や分子など）を巧みに使いこなしながら繁栄を続けています。見事なまでに！

実は、人間も同様のしくみ（機能）を備えて今日まで生き延び、繁栄を続けてきました。人類が地球上に誕生してからの時間は数百万年と言われていますが、証人がいませんで何とも・・・。そんな悠久の時間の流れの中で私たちの祖先は膨大な外敵（有害ガス、ウイルス、カビ、菌、etc）と遭遇しながら、私たちの防御システム、所謂、靈妙かつ精妙なるスーパーシステムを獲得してきたが故に、私たちは今存在しています。

株式会社コンタクト

絶滅危惧種の人類！？

私たちのからだのなかで、特に精巧なしくみで外敵、外圧から守られている器官は脳と生殖巣（精巣、卵巣、胎盤）ではないでしょうか？（肉体と精神まるごとですが・・・）その守るしくみの代表例が脳神経と末梢器官を繋いでいて尚且つ隔離してくれている**血液脳関門（BBB：Blood Brain Barer）**という機能です。これは脳の神経細胞を守る門番（フィルター）で、脳に役立つ物質は自由に通過させ、脳に害となる物質は通過させない働きです。他に類似した仕組みは生殖器官です。赤ちゃんを守る（子孫を残していく）ための霊妙なしくみが胎盤です。まるでモミ殻に守られている種モミのように。

ところが、この霊妙且つ精妙なる機能やしくみが危機的状態にあります。それは人類が自ら創り（作り、造り）賞賛してきた（科学）技術によって、自らの生命装置を壊し、人類の未来を崩壊させようとしています。科学や技術を否定するものではありませんが、人間の欲得に根ざした分別のない神の領域に踏み込むような無慈悲な科学技術の発展や拡大は止めなければ大変な状況に陥ります。

中でも、目に見えない電磁波と化学物質による複合的環境汚染が生体と社会を蝕んでいきます。なぜか？それは前述の人類が地球に誕生してから悠久の時間の中で幾多の外敵や外圧に屈することなく獲得して育んできた貴重な機能やしくみを人間自ら、内面から壊しているからです。次回の『自然に学ぶ勉強会』はこのような問題・話題提起です。

子どもたちは、宝です！希望です！未来です！

電磁波が BBB（血液脳関門）を開かせる

神経学者 アラン・フレイ（アメリカ）

電磁波（マイクロ波）が BBB をオープンにさせる。

脳

脳

BBB（血液脳関門）

毒物、異物、ウイルス、細菌、真菌などの侵入をブロック

毒物、異物、ウイルス、細菌、真菌、電磁波の侵入

電場・磁場の人体への影響①

Point !

<h4>電場</h4> <p>体の表面を覆って誘導電流を作り出します。</p> <p>↓</p> <p>自律神経や皮膚表面に変化を及ぼす可能性があります。</p>	<h4>磁場</h4> <p>すべての物質を通り抜けて、電磁誘導により熱変化を起こします。</p> <p>↓</p> <p>遺伝子損傷や内臓疾患および発がんの可能性がります。</p>
---	---

株式会社コンタクト